

©バンダイ
HG
GUNDAM 00



GN-000
O GUNDAM
1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM 00-52
Oガンダム

●写真はイメージです。

12

x2 (2個作る)
PC9 B6

11で作った腰部

10

13

7

12

※バンダイプラモデル
アクションベース2 (別売り)
差し込み用 (丸型) BA4-A◎

14

B22 B23

16

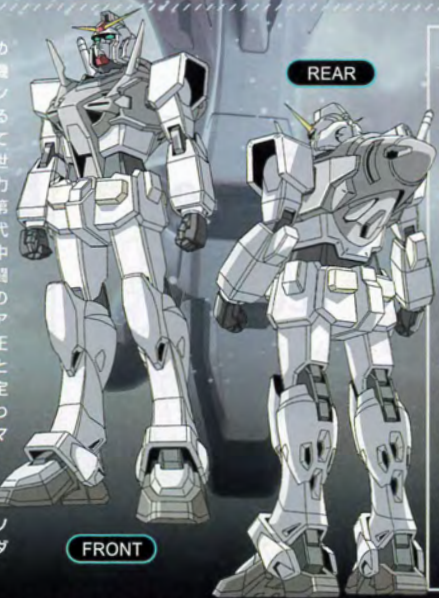
※GNフェザーは形状に合わせて取り付けます。(GNフェザーはご自由に表裏を付け替えてください。)

15

4で作ったガンダムシールド

※バンダイプラモデル
アクションベース2 (別売り)
差し込み用 (丸型) BA4-A◎

ソレスタルビーイングが武力介入のために作り出した最初のガンダム。第一世代機と呼ばれる。この段階で太陽炉をエンジンユニットに採用し、ビーム兵器を携帯するというガンダムの基礎システムは完成している。本機で得られたデータを元に第二世代ガンダムが開発された。後に実際の武力介入を行ったのは、さらに一世代進んだ第三世代ガンダムとなる。本機は、第三世代機完成直前に武力介入のテストのため中東での戦闘に参加し、圧倒的な性能で戦闘を行っていた両軍を壊滅させている。この時のガンダムマスターは、リボンズ・アルマーク。この段階で彼はOガンダムの正式マスターではなく、機体色はグレーとなっている(ガンダムはマスターの決定に合わせ、細部調整とカラーリングが行われる)。この戦いでは、後のエクシアのマスターとなる刹那が、Oガンダムを目標撃している。武力介入が始まると本機はサポート組織フェレシユテの預かりとなったが、国連軍との戦いの後にソレスタルビーイングに戻され、太陽炉がダブルオーガンダムに使用された。



PILOT
リボンズ・アルマーク
RIBBONS ALMARK

ガンダムマスターとして武力介入を行うために作られた戦闘用のイノベイドのひとり。人間の遺伝子を使って作られた人造人間で、不老の肉体と長い寿命を持つ。イオリアの計画初期段階では彼らイノベイドをガンダムマスターとして武力介入するプランもあったが、最終的にマスターには人間が選ばれた。これは滅ぶべき運命を持つマスターになることを避けるべく、リボンズが計画に介入したためである。リボンズは自らを進化した存在であると主張し、イノベーターを名乗る。彼が、計画介入の野望に動き始めた切っ掛けのひとつとして、自分が操縦するOガンダムを、神を見るような目で見つめるソラン・イブラヒム(刹那)の存在があった。



FRONT

REAR

『僕はキミを見ていたんだ。モビルスーツのコクピットからね…』

1 ビームガン

圧縮粒子をビームとして発射する兵器。初期段階に開発されたもので、現在のビームライフルでは標準となっている内蔵GNコンデンサーを搭載していない。そのため、エネルギーはすべて本体の太陽炉に依存している。かわりに小型であり取り扱いがしやすいメリットを持つ。



2 ビームサーベル

ガンダムに標準装備されている格闘用兵器。抜き放つと、GN粒子による刃が現れる。実剣ではなく純粋なビームによる剣。ほとんどのガンダムは複数装備するが、本機ではバックパックの右側に一本しか装備されていない。



3 ガンダムシールド

高い強度を持つEカーボン素材のシールド。これにGNフィールド効果を加え、完全防御の盾としている。現在採用されているものより、GNフィールド装置が大型で重量があるため、スピードを重視する場合には、装備しないこともある。



Gundam 00
2nd season

ガンダム00 セカンドシーズン

武力介入のテストを行った後、ファクトリーの格納庫で保管されていたが、インペイターとの最終決戦では、太陽炉の代わりに超大型GNコンデンサー（粒子貯蔵タンク）を搭載し、蓄えた粒子量の範囲で活動できるようにして実戦投入された。この時、予備マスターであったラッセが操縦を担当し、粒子をすべて使い切るまで戦い続けた。パワー切れとなり放棄された本機は、ダブルオーとの戦いで太陽炉を手に入れたリボンスの目にとまり、そのままオリジナル太陽炉によって再起動することになる。



MODE CHANGE

背骨形状はリボンス搭乗時のGNドライブ仕様と、ラッセが搭乗したGN粒子貯蔵タンク仕様の両形態を、パーツの差し替えで再現。

O GUNDAM (Type A.C.O.)

HG Oガンダム (実戦配備型) (発売中)



Oガンダム

型式番号: GN-000

頭頂高: 18.0m / 本体重量: 53.4t

武装: ビームガン/ビームサーベル/ガンダムシールド

1 BEAM GUN

2 BEAM SABER

3 GUNDAM SHIELD

※HG Oガンダム(実戦配備型) (別売り)に付属するサーベルクリアパーツを取り付ける事ができます。

GN FEATHER (GNフェザー)

GN粒子を機体の周りに大量に噴射し、それをクラピカルアンテナで制御することで作り出す、光り輝く翼。空中での機体の安定度を増す上、敵の攻撃に対して濃密な粒子での攪乱が可能になる。また、圧倒的な力での武力介入が必要なガンダムにとって、大きな光の翼は、視覚的に敵を威圧することでメンタルダメージの効果も持つ。第一世代のOガンダムに試験的に搭載されたが、得られる効果に対して粒子消費量が大き過ぎるため、後の機体では不採用となった。

※写真は開発中の物です。実際の商品とは異なります。

O GUNDAM

COLOR GUIDE

● 本体等ホワイト部

ホワイト (90%)
+ミッドナイトブルー (10%)

● 胸等グレー部

ホワイト (80%)
+ブラック (20%)

● つま先等グレー部

ニュートラルグレー (80%)
+ブラック (15%)
+パープル (5%)

● 関節等グレー部

ニュートラルグレー (75%)
+ブラック (15%)
+ミディアムブルー (10%)

● 腰部イエロー部

ホワイト (95%)
+イエロー (5%)

● 頭部等レッド部

モンザレッド (100%)

● アンテナ等イエロー部

イエロー (60%)
+ホワイト (30%)
+オレンジ (10%)

● 目ライトグリーン部

ホワイト (50%)
+スカイブルー (35%)
+イエローグリーン (15%)

● 胸部中央ダークグリーン部

+ネービーブルー (80%)
+デイトナグリーン (20%)

● よりリアルに仕上げたい方は、左の基本色をご確認ください。
● 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合値は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

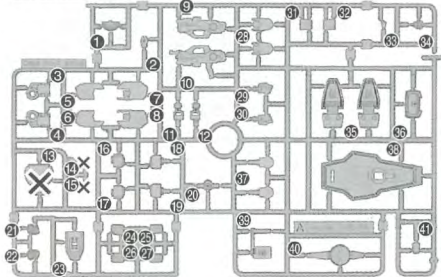
注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

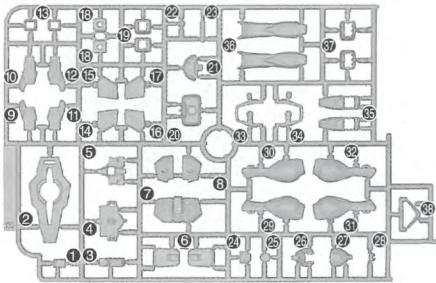
| | | | | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|----------------|---------------|----------------|
| 接着をするところ | シールの番号 | デカールの番号 | 反対側に取り付けるパーツ | 両側に関しパーツを取り付ける | 向きに注意して取り付ける | ビスの締めすぎに注意 |
| 切り取るところ | 部品を数値の個数作ります | 先に組み立てます | 後に組み立てます | 数値に合わせて回転させます | どちらかを選んで取り付ける | 反対側も同じように動かします |

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



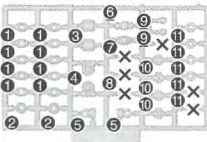
GNフェザー (PET樹脂: PET)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



〈PC-001〉 (ポリエチレン: PE)



1 **<1>**

※シールは先に貼ります。
※奥までしっかりと はめ込みます。

1 **<2>**

1 **<3>**

※穴がある方 (向きに注意)

1 **<4>**

を裏返したものを

2

※シールは先に貼ります。

4

3

5 **<1>** **×2** **2箇所作る**

5 **<2>**

5 **<3>**

※穴がある方 (向きに注意)

5
(4)

PC10
B12 B11
PC6
B19
B19 (向きに注意)

(後に組む)
(向きに注意)

「上から見た図」
B19 (向きに注意)

5
(5)

5(3)
5(4)
A31 A30

6
(1)

PC1 B14
B16 B18 B13
5(1)
5(1) (向きに注意)

(向きに注意)
※穴がある方

8
(5)

PC1 A16 A18
8(3)
8(4)
8(2)

9
(1)

A12 B33
8(1)
8(1) (裏返したもの)

9
(2)

A3 PC1 PC1

9
(3)

B37 A5
9(2)
9(2) (後に組む)

9
(4)

PC10 B29 PC1 B31

6
(2)

PC10 B10
B9 PC6
B19
B19 (向きに注意)

(後に組む)
(向きに注意)

「上から見た図」
B19 (向きに注意)

7

2 で作った 頭部
5 で作った 右腕
3 で作った ビームガン
1 で作った ボディ
6 で作った 左腕

9
(5)

A17 PC1 A19
B36
9(3)
9(4)
9(1)

10

8 で作った 右脚
9 で作った 左脚
A20
B25

「上から見た図」
A20 (向きに注意)

8
(1)

8
(2)

A35 PC3 B35
B34 A11
8(1)
8(1) (裏返したもの)

※奥までしっかりと はめ込みます。
(切り取る)

8
(3)

A4 PC11 PC1
B37 A6 A8

(後に組む)

8
(4)

PC10 B30
B32 PC1
B36

11
(1)

A24 B8 A26
A41 B3 B5
B3 (シール)
A41 (シール)
B5 (シール)

(向きに注意)

11
(2)

PC2 B7 A25 B24 A27
11(1) (裏返したもの)

(シール)